

# 独立監査人による監査報告書

## 独立監査人による監査報告書

沖電気工業株式会社  
取締役会御中

当監査法人は、日本円で表示された沖電気工業株式会社の2006年3月31日及び2005年3月31日現在の連結貸借対照表ならびに2006年3月31日までに終了した各三年度の連結損益計算書、連結剰余金計算書、連結キャッシュ・フロー計算書について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は、監査に基づき、連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、日本において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために監査を計画し遂行することを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、財務諸表の金額及び開示項目を支える証拠を審査することを含んでいる。また、経営者が採用した会計方針及びその適用方法ならびに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、日本において一般に公正妥当と認められる企業会計原則に準拠して、沖電気工業株式会社及び連結子会社の2006年3月31日及び2005年3月31日現在の財政状態ならびに2006年3月31日をもって終了する三連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

注記の1( m )に記載の通り、沖電気工業株式会社及び連結子会社は、2006年3月31日をもって終了する年度より、減損会計に係る新しい会計基準を採用した。

注記の1( m )に記載の通り、一部の海外連結子会社は、2006年3月31日をもって終了する年度より、退職給付に係る新しい会計基準を採用した。

注記の20に記載の通り、会社と連結子会社は、2006年3月31日をもって終了する年度より、事業セグメントを変更した。

添付の連結財務諸表に含まれる2006年3月31日現在をもって終了した年度に係る米ドルで表示された金額は、単に読者の便宜のために記載されている。当監査法人の監査は米ドルから日本円への換算も含んでおり、当監査法人は連結財務諸表の注記2で述べられた基準で換算しているものと認める。

新日本監査法人

2006年6月29日

注：本監査報告書は、Oki Electric Industry Co., Ltd.  
Financial Report 2006に掲載されている" Report of  
Independent Auditors "を翻訳したものです。